

福岡県公安委員会活動状況

<定例会の主な議題及び要旨>

平成29年4月13日（木）

【報告事項】

1 平成28年度第4四半期（1～3月）における監察実施結果について

（警務部）

警察本部から「平成28年度第4四半期において、本部及び警察署等の7所屬に対して総合監察を、また、警察署、交番等に対して計109回の随時監察を実施した。良好事項としては、潜在実績に対する表彰を実施する取組があった。一方、指導事項としては、拳銃関係簿冊の記載不備等があり、指導を行った。また、異動期における監察官による巡回指導を実施した。」旨の報告があった。

公安委員から「潜在実績に光を当てるのは重要なことである。特に本報告にある表彰の対象となった非行少年の立ち直り支援は、将来的な犯罪の連鎖を断ち切るものであり、その重要性を認識した職員が主たる業務の傍らで地道に取り組んでいる。このようなところに光を当てることを、是非、他の警察署でも進めていただきたい。」旨の発言があった。

2 平成28年中のストーカー・DV事案の対応状況等について

（生活安全部）

警察本部から「ストーカー事案の相談等件数は1,342件で前年比28件増加し、DV事案の相談等件数は1,873件で前年比216件増加している。今後も、被害者等の安全確保を最優先とした加害者の検挙、被害者の保護措置等の組織的な対応等を推進する。」旨の報告があった。

公安委員から「子供達への心理的虐待となる面前DVも、本報告にあるDV事案の相談件数に比例して、非常に多くなっていると思う。また、乳幼児を含めた児童虐待による死亡数も増加しており、由々しき問題だと考えている。」旨の発言があり、警察本部から「関係機関とのネットワークにおいて実質的に早い段階から情報を共有し、関係機関と協働して的確に対応していきたい。」旨の説明があった。

公安委員から「相談件数が多いということは、警察で対応できることが周知されたと見ることもできると思う。今後は、ストーカー・DV事案の検挙件数なども、全国件数と比較して見ていくことが重要だと思う。」旨の発言があった。

3 地域警察における職務質問を中心とした犯罪等抑止対策強化月間の実施について

（地域部）

警察本部から「5月1日から同月31日までの間を地域警察における職務質問を中心とした犯罪等抑止対策強化月間に設定し、三大重点目標の達成に向けた職務質問の徹底、若手警察官の早期育成・戦力化に向けた抑止・検挙対策及び署情に応じた犯罪の抑止・検挙活動を推進する。」旨の報告があった。

公安委員から「地域警察の基本的な活動である職務質問は、多くの犯罪防止の糸口となっていることから、是非、スキルアップをお願いしたい。一方、これまでの苦情の内容をみると、言葉のやり取りで感情を害し、苦情につながっていることもあるので、そのような面を含めたフォローアップと指導者の育成をお願いする。」旨の発言があり、警察本部から「職務質問による検挙も大事だが、市民応接として、大部分が善良な市民であることを念頭に置いた指導を行っていきたい。」旨の発言があった。

4 建設業法違反事件の検挙について

(暴力団対策部)

警察本部から「小倉北警察署ほか2警察署及び北九州地区暴力団犯罪捜査課は、法人の特定建設業許可申請を行うに当たり、雇用事実がない技術者の氏名を申請書類に記載し、監督行政機関に提出した事案について、平成29年4月10日、北九州市門司区居住の建設会社役員の男性ほか2人を建設業法違反で検挙した。」旨の報告があった。

5 福岡県警察自動車運転訓練場の業務開始について

(交通部)

警察本部から「飯塚市の旧筑豊自動車運転免許試験場跡地に庁舎移転した福岡県警察自動車運転訓練場の改修工事が終了し、4月から新コースで運転訓練等の業務を開始する。」旨の報告があった。

公安委員から「急ブレーキなどを訓練場で体感させるというのは非常に重要だと思う。」旨の発言があった。